

仙台北部道路(利府しらかし台IC~富谷JCT)開通によって、 周辺道路で交通量が減少しています

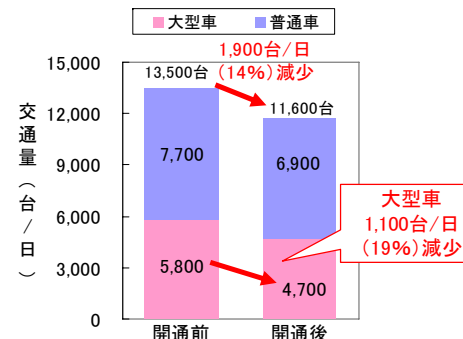
利府しらかし台IC~富谷JCTの交通量は6,200台/日

- ◆ 仙台北部道路の開通1ヶ月後の交通量は、6,200台/日となっています。
- ◆ 仙台北部道路が開通したことにより、並行する(主)塩釜吉岡線及び国道4号仙台バイパスの交通量が減少しており、仙台北部道路へ交通が転換されました。



国道4号仙台バイパスなど 周辺道路で交通量が減少

- ◆ 国道4号仙台バイパス(仙台市泉区七北田)では、仙台北部道路の開通により交通量が1,500台/日(3%)減少しました。
- ◆ 開通前、(主)塩釜吉岡線では大型車が多く通行していましたが、開通後は、仙台北部道路に大型車が転換したため、1,100台/日(19%)減少しました。



▲(主)塩釜吉岡線(大和町鶴巣暮柳)の交通量の変化
出典:交通実態調査
開通前:H22.2.16(火) 開通後:H22.4.27(火)

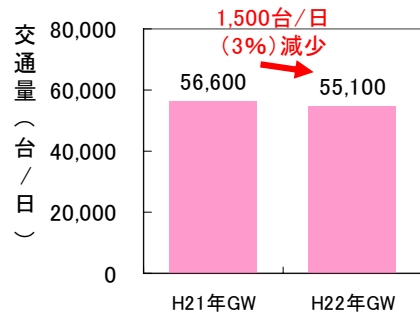
仙台北部道路が様々な物流に 利用されています

- ①仙台北部道路利用で、コスト削減!
仙台北部道路を利用することにより、輸送時間が短縮し、ドライバーの労働時間が短縮したため、人件費の縮減が可能になりました。 出典:A社(食品運送業)ヒアリング調査
- ②高速道路利用で、定時性が向上!
仙台北部道路開通後は、混雑に巻き込まれることがなくなり、配送時間が読めるようになってとても助かっています。 出典:B社(液化ガス運送業)ヒアリング調査

GW期間中も昨年に比べ交通量が増加しました

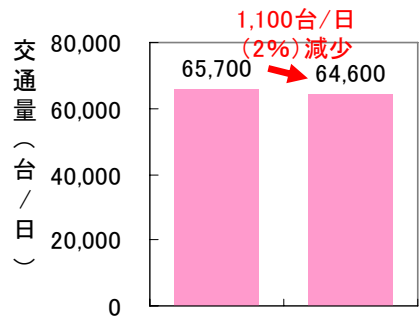
GW期間中における仙台北部道路の交通量は8,400台/日

- ◆ GW期間中の交通量は、利府しらかし台IC～富谷JCTで8,400台/日です。また、利府JCT～利府しらかし台ICで7,300台/日であり、前年に比べ4,700台/日(181%)増加しています。
- ◆ 一方、国道4号仙台バイパスの交通量は、昨年GWに比べ、仙台市泉区七北田で1,500台(3%)減少、仙台市太白区郡山では1,100台/日(2%)減少しています。



▲国道4号仙台バイパス (仙台市泉区七北田)の交通量

出典: 仙台河川国道事務所交通量データ

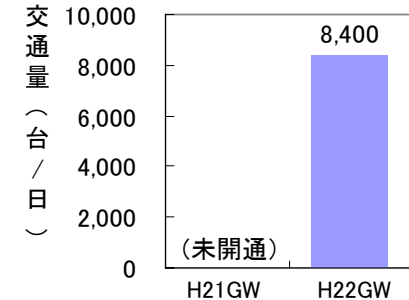


▲国道4号仙台バイパス (仙台市太白区郡山)の交通量

出典: 仙台河川国道事務所交通量データ

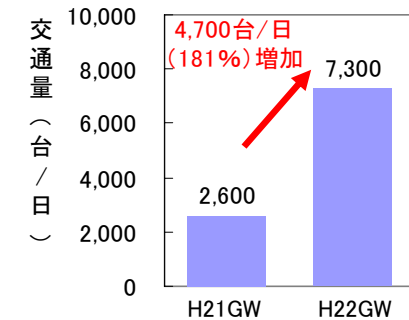


▲仙台北部道路および周辺道路の交通量の変化(GW期間中)



▲利府しらかし台IC～富谷JCTの交通量

出典: NEXCO東日本交通量データ



▲利府JCT～利府しらかし台ICの交通量

出典: NEXCO東日本交通量データ

※ H21年GW: 平成21年4月29日～5月6日
H22年GW: 平成22年4月28日～5月5日